

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0904004

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成20年度～ 事業費 1,200千円(計画年度により変更あり) 計画内容:商品券発行事業
基本施策	4 商工業の振興	事業優先度	A	
単位施策	2 多様なビジネス展開の促進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	商業活性化推進事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	消費町外流出の軽減		#N/A	
事業目標	現状維持	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
住民参加 住民協働	2	関係例規・法令名		
		関係個別計画名		

全体計画		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計 画 内 容	商工会に対する補助 1 プレミアム商品券発行事業に対する補助 2 商店街人材育成事業に対する補助	商工会に対する補助 1 プレミアム商品券発行事業に対する補助 1,200千円	商工会に対する補助 1 プレミアム商品券発行事業に対する補助 10,000千円	商工会に対する補助 1 プレミアム商品券発行事業に対する補助 1,200千円	商工会に対する補助 1 プレミアム商品券発行事業に対する補助 1,200千円	商工会に対する補助 1 プレミアム商品券発行事業に対する補助 1,200千円	
	事業費(千円)	14,800	1,200	10,000	1,200	1,200	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	7,700		7,700			
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	7,100	1,200	2,300	1,200	1,200	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	15,306	1,200	9,906	1,200	1,800	
	財源内訳						
	国庫支出金	8,300		8,300			
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	7,006	1,200	1,606	1,200	1,800	
関 連 事 項	(特定財源の詳細等) 地域活性化・経済危機 対策臨時交付金						
	【評価・実績】	(実施内容等) プレミアム商品券発行事業に対する補助 発行枚数:10,500枚 売上金額:8,925千円 使用実績:10,464千円 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) プレミアム商品券発行事業に対する補助 発行枚数:60,000枚 売上金額:50,000千円 使用実績:59,440千円 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) プレミアム商品券発行事業に対する補助 発行枚数:12,000枚 売上金額:10,000千円 使用実績:11,483千円 ※前年度評価結果 A-継続/縮小	(実施内容等) プレミアム商品券発行事業に対する補助 発行枚数:12,000枚 売上金額:10,000千円 使用実績:11,484千円 ※前年度評価結果 A-継続/拡充	(実施内容等) プレミアム商品券発行事業に対する補助 発行枚数:18,000枚 売上金額:17,250千円 使用実績:16,302千円 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値	補助1団体	補助1団体	補助1団体	補助1団体	補助1団体
		年度達成率	100%	99%	100%	100%	150%
		全体達成率	8%	75%	83%	91%	103%
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	

事業名	商業活性化推進事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	石井弘道
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	河原 学

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町商工会	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	町内商工業の販売額								
【抱える課題やニーズは】	町外の量販店・郊外大型ショッピングセンターへ顧客が流出し、町内小売業の活力が低下している。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	地元での購買意欲を喚起し、販売額の向上を目指す。	① 販売枚数:18,000枚 作製枚数:18,000枚	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>18000枚</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>18000枚</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	18000枚	実績値	18000枚	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	18000枚										
実績値	18000枚										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	町経済が活性化し、地元商工業者の経営基盤が安定する。	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	プレミアム商品券の発行に係る割増率の補助	11,500円分の商品券のプレミア額1,500円分の内、町が80%負担。その他発行に係る経費(印刷・広告宣伝等)は商工会が負担。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	経済の長期低迷と購買力の町外流出が続く中、地元における消費拡大のため、当面は行政の支援が必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	計画枚数を完売していることから見て、町民へ定着も十分と考える。また、一定の経済効果があったと判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由	行政の補助も必要であるが、原則は商工業者による自助努力であることから、住民のニーズに応えた商品提供、共同セールの開催、流通形態の見直し等、価格や品揃えを補う等の対策が迫られている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
/課題あり	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

概ね公平	判断の理由	昨今の景気悪化から町民の関心が高いことが伺えるが、すべての町民に広くに普及していない。また、使用が特定業種に偏る傾向が見られる。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input checked="" type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
/公平でない	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
事業効果としては、一定の成果が見られる。商店経営の一助等の位置づけもあることから、商工会加盟取扱店の自助努力を促進するためにも必要と判断する。		



今後の展開方向(Action)	継続/現状維持	
	今後、取扱店を広げることせず、商店支援の位置づけが大きいことから、町民にもっと使いやすいものにすることや、特定業種に偏らないための工夫が必要である。	

※展開方向の区分
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 ○終了 ○休止 ○廃止